

葦 早 (yoshi)

市川市立第七中学校 学校だより
No.2 令和6年5月14日

学校教育目標

「豊かな心を培い、たくましく生き抜く力を育てる」
～ 多様性を認め自他を大切にする ～



『一勝懸命』 ～PROVE YOUR GUTS～

5月11日(土)に体育祭を実施しました。晴天の中、熱中症に気を付けての実施となりましたが、今年度もPTAやおやじの会など多くの方々に支えられ、開催することができました。早朝から、お弁当作りやグラウンドの整備等、準備・協力をしてくださり感謝いたします。

生徒たちは3年1組が考案した「一勝懸命」～PROVE YOUR GUTS～のスローガンのもと、競技に、係活動に、応援に、全力で取り組んだ1日となりました。中学校の体育祭は生徒たちが主体的に活動する場面を大勢の前で表現する場です。それは1つ1つの競技に参加する選手はもちろん、その競技を支え運営する委員会・係活動も同様です。

体育祭を通して、クラス・仲間との「絆」がより強まり、生徒一人ひとりの胸には七中「魂」が宿ったことと思います。



学級対抗リレースタート



綱引き



台風の目



障害物競争



鬼パン競争



大縄跳び



優勝カップ前・入場



部活動対抗リレー



部活動対抗リレー

教育実習生

5月7日（火）から4名の教育実習生が来ています。今年度は前期5月、後期10月の2回に分けて合計8名の卒業生が教育実習を行います。

昨今の教師不足、多忙化など大学生にとって学校現場の評判はあまりよくありません。また、教員免許を取得するための教育実習までたどり着ける大学生も数少ないようです。今年度本校に教育実習に来た大学生は、大学で目的意識をもって授業に臨み、教員免許取得のため一般の大学生より多くの単位を取得し、教育実習にまでこぎつけてきたことと思います。

生徒ともに学び自分自身を高め、未来の教師を目指し頑張ってもらいたいです。



心のバリアフリー教育（グッドプラクティス奨励賞）

昨年度、千葉県教育委員会より「心のバリアフリー教育地域拠点校」に本校が指定されました。共生社会の形成を目指して学校と地域等が連携・協働し、障がいのある人や高齢者等を含めた他者の理解を深めるとともに、パラスポーツなどを通じて、相互に支えあい、認め合える心を育てる教育の拠点校として活動してきたことが評価され、令和6年3月末に千葉県教育委員会よりグッドプラクティス奨励賞を受賞しました。

今後も学校教育目標のサブテーマにあるように、「多様性を認め、自他を大切にする」教育活動を推進していきます。



文責 校長

※学校ホームページにはタイムリーな学校の様子等がアップされています。

緊急時の連絡をお伝えすることもあります。HPの登録をお願いします。 ⇒

